



大本堂前に整列する選手たち

5年ぶりの日本一へ

千葉ロッテマリーンズ必勝祈願

プロ野球・千葉ロッテマリーンズの伊東監督やコーチ、選手、球団スタッフら総勢約90人が1月23日、成田山新勝寺を参拝しました。市内出身の唐川侑己選手をはじめ、表参道を歩いて大本堂へ向かう選手たちに、地元の人や参詣客からは温かい声援が送られました。チームの目標は、2010年以来5年ぶりとなる日本シリーズ制覇。^{かちおんまもり}勝御守を身に付けた一行は大本堂で御護摩修行を受け、2月1日のチャンピオンを前に表情を引き締めていました。



チームメートと談笑する唐川選手(右端)



2台を弾き比べ

わたしはピアニスト

グランドピアノを弾いてみませんか

大ホールを貸し切りでコンサートピアノを演奏してもらおうと「グランドピアノを弾いてみませんか」が1月24日・25日、国際文化会館で行われました。1人につき1時間、大ホールのステージで2台のピアノを自由に演奏することができます。そのうち1台は、世界で最も有名なピアノの代表格であるスタインウェイ。2日間で13組の参加者が演奏しました。24日に参加した中学生は「レット・イット・ゴー」「旅立ちの日に」などを演奏。「家では電子ピアノで練習しています。きょうはいつも弾いている曲をグランドピアノで演奏できてうれしい」と話していました。

熱戦の中にも笑顔

ミックステニス大会

男女でペアを組んで挑む「ミックステニス大会」が1月25日、中台運動公園テニスコートで開催されました。15組が参加した今大会は全てリーグ戦で行われ、3組ごとの予選に続き、予選の同一順位同士による順位別リーグが行われました。1位リーグの上位3組と2位・3位各リーグの上位2組が表彰されるとあって、選手たちは1日6試合を全力で戦い抜きました。得点するたびに「ナイス」と笑顔でパートナーと声を掛け合い、和やかな中にも真剣な戦いが繰り広げられました。



パートナーと息を合わせて



上手にできたよ

大人も子どもも夢中に

豆本づくり講座

市立図書館で開館30周年記念のイベント「豆本づくり講座」が1月18日、開催されました。普段手にする本の製本過程を学ぼうと、小学生から大人まで25人が参加。紙を折ったり、のりで貼ったりする細かな作業に丁寧に取り組み、縦横7.5センチメートルほどのメモ帳を作りました。最後に好みの色の千代紙を表紙に貼り、透明なブックコートで本を保護すると完成。3時間の製作時間にも「あっという間だった。1時間が10分くらいに感じた」と、参加した児童の1人はうれしそうに話しました。

チームの栄誉懸け力走

スポーツ少年団駅伝交流大会

市内のスポーツ少年団から95チームが参加して「スポーツ少年団駅伝交流大会」が1月18日、中台運動公園で開催されました。野球・サッカー・バスケットボールなどユニホーム姿の選手たちが、チームの栄誉を懸けて懸命にたすきをつないで走る姿に、チームメートや家族から熱い声援が送られました。結果は次の通りです。

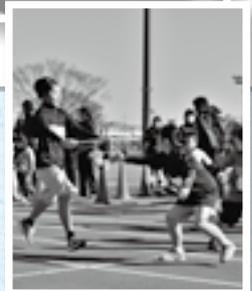
優勝 ポレイロ ファイト (FCボレイロ成田)

準優勝 ジュニアファイブホワイト (ジュニアファイブ)

第3位 FCボレイロ レッドファイブ (FCボレイロ成田)



一斉にスタート



たすきリレーは確実に



約200人の聴衆が魅了された演奏



ホルンの音の出し方などを解説

木管アンサンブルにうっとり

ふれあいコンサート

市役所では毎月1回、市民の皆さんに歌や楽器の演奏などを鑑賞して楽しんでもらおうと「ふれあいコンサート」が開催されています。45回目となる1月22日、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉の皆さんが木管五重奏により「ディズニーメドレー」「青く美しきドナウ」な

ど、なじみのある曲やクラシックの名曲全8演目を披露。フルート、オーボエ、ファゴット、クラリネット、ホルンの奏でる音色が会場を包みました。また、演奏の合間には楽器の解説も行われるなど、訪れた人たちは優雅な昼のひとときを過ごしました。